

# 大崎市デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画【概要版】

## 1 策定の背景と趣旨

ICTの急速な普及・発展や、新型コロナウイルスの感染症拡大により、私たちの生活には大きな変化が生まれています。このような中で、自治体は複雑かつ多様化する住民福祉の水準を維持することが求められ、行政としても限られた資源で問題解決にあたる必要があります。

こうした背景を踏まえ、持続可能なまちづくりの実現を図る観点から「大崎市DX推進計画」を策定し、人々の生活をあらゆる面で良い方向に変化させるDXを推進するものです。

## 2 自治体DXの必要性 大崎市の現状と課題

- ①人口減少
- ②災害の備え
- ③経営資源の制約
- ④行政手続
- ⑤マイナンバーカードの普及促進
- ⑥デジタルデバイド(情報格差)対策
- ⑦産業振興

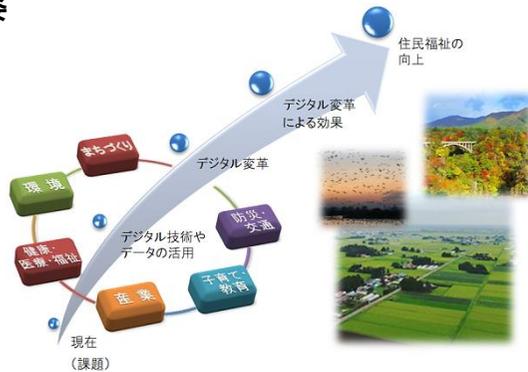
課題解決

デジタル技術やデータの活用を前提とした政策展開

- ・市民の利便性向上
- ・業務の効率化
- ・産業の維持発展

## 3 大崎市がデジタル変革で目指す姿

デジタル技術によって、都市の持つ高い生産性や良質な情報と田園の持つ豊かな自然、潤いのある人間関係を結合させ、誰一人取り残さず、健康でゆとりある暮らし、働き方の柔軟性や生活の質が高く維持される「持続可能なデジタル田園都市」を目指します。



【目指す姿】

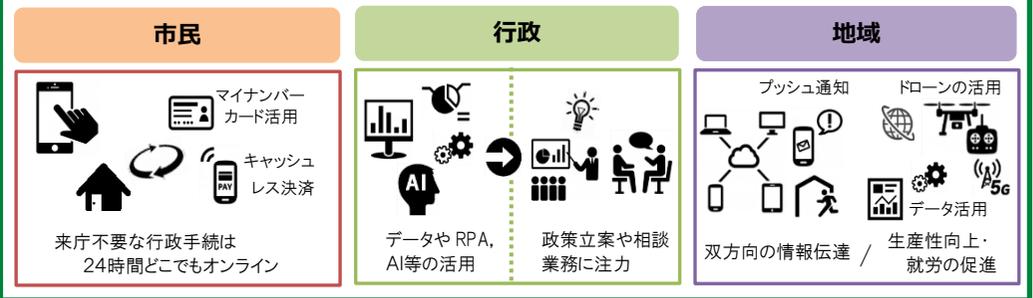
持続可能なデジタル田園都市 ー絶え間ないデジタル変革・フロンティアおおさきー

## 4 DX推進のための基本方針

デジタル変革で目指す姿を実現し、デジタル技術の活用により人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させるDXを推進するため、3つの基本方針を定めます。

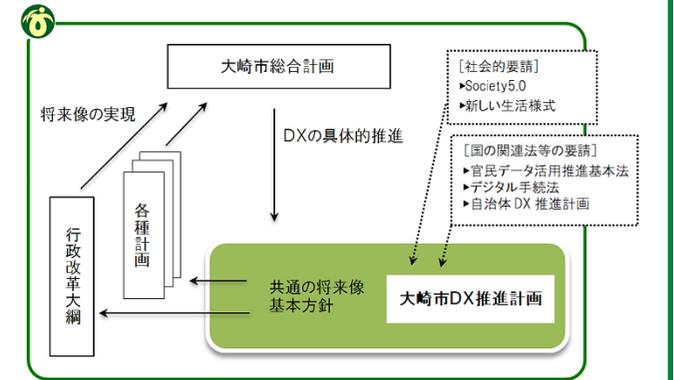
- (1) 市民サービスのデジタル変革 ~市民の利便性の向上~
- (2) 行政のデジタル変革 ~行政運営の効率化~
- (3) 地域のデジタル変革 ~安全安心な暮らし~

## 【デジタル化が進んだ先の姿(例)】



## 5 計画の位置づけ

総合計画におけるDXを具体的に推進する計画として位置づけ、行政改革大綱や各種計画におけるデジタル技術を活用した変革に関する共通の将来像、基本方針とします。



## 6 計画期間

令和4年度から令和8年度までの5年間を計画期間とします。

## 7 推進体制

市長をトップとした全庁的な体制で取り組みます。また、計画の進捗度について把握・分析を行い、本計画の実効性を高めていきます。

## 8 取組分野

本計画で目指す姿を実現するため、重点的に取り組む分野を8分野とします。また、8分野も含め、各部門で意欲的に取り組む施策については、総合計画の実施計画の中で取り扱います。

- (1) 情報システムの標準化・共通化
- (2) マイナンバーカードの普及促進
- (3) 行政手続のオンライン化
- (4) 業務効率化ツールの利用促進
- (5) テレワークの実践
- (6) セキュリティ対策の徹底
- (7) 地域社会のデジタル化
- (8) デジタルデバイド対策